

しなののうた

十和田湖に響く樹恩の鐘の音が原生林に吸い込まれゆく



杉田小百合

しなののうた

さざなみの立つる十和田の湖面には朝の光がきらきら渡る

杉田小百合



しなののうた

手つかずのままの森林保ちたる十四キロの奥入瀬溪谷



杉田小百合

しなののうた

倒れたる樹々に苔生す傍に桂の枝葉もりもりと伸ぶ

杉田小百合



しなののうた

雨上り奥入瀬溪谷歩きなば不意に栃の実頭を打ちし



杉田小百合